

NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画推進センターニュースレター

Vol.19

発行

名古屋市立大学男女共同参画推進センター 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL : 052-853-8577 E-MAIL : sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL : <http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/>

名古屋市立大学男女共同参画推進センター長からのメッセージ

本学における男女共同参画への取り組みは、平成20年6月に設置された「男女共同参画室」から始まりました。次いで平成23年11月に「女性研究者支援室」が設置され、さらに平成26年4月にはこれらが統合されて「男女共同参画推進センター」となり、いくつかの事業を展開しています。さらに本年度は「ダイバーシティ推進本部」が設置され、平成31年2月にダイバーシティ宣言がなされました。

ダイバーシティ宣言では、人間の多様性の尊重と多様な人々の活躍の重要性が謳われています。具体的には男女共同参画の実現、次世代育成の支援、障害者・高齢者・外国籍の人々の学びと就労の推進を目指しており、男女共同参画推進センターは、ダイバーシティ推進の一翼を担っています。本学の学生、教職員の一人一人が尊重し合い、成長する組織となるよう引き続き各種事業を展開していきたいと思っております。皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



センター長 明石 恵子
(看護学部教授・副学長)

平成30年度名古屋市立大学男女共同参画セミナー

医学部研究棟 11階A講義室

「自分らしさを仕事に生かす ～ともに働くためのコミュニケーションのコツ～」を開催しました。

11月15日、男女共同参画セミナーを行い、職員学生合わせて97名が参加しました。「自分らしさを仕事に生かす～ともに働くためのコミュニケーションのコツ～」と題し、中北薬品株式会社マナーインストラクター部の安田みきよ氏を講師にお招きました。

コミュニケーションとは、お互いに意思や感情、情報などを伝え、共有することであり、その基本は「会話」であること、そして「あいさつ」が重要であることが紹介されました。

ペアワークを通じて言葉の内容と顔の表情の組み合わせで受け止め方がどう変わるかを確かめ、自分の気持ちを相手に伝えるためには、言葉だけではなく表情で表すことや距離を相手に合わせる事が重要であると学びました。

受講者からは、「実践的で大変参考になった」「気持ちの良いあいさつをいつもするというのは簡単なようで難しいが、これから気をつけたい」といった声が聞かれました。



講師
安田みきよ氏



開催告知のチラシ



講演会の様子

NEWS LETTER
Vol.19
CONTENTS

P1 センター長からのメッセージ
男女共同参画セミナー

P2 事業報告 教養教育科目「大学特色科目」の紹介
●前期:「地域社会で活躍する女性」
●後期:「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」

P3 事業報告 ●学生・教員交流会
●ワーク・ライフ・バランス講演会 ●両立カフェ
●男女共同参画セミナー ●ランチタイムヨガ・夕方ヨガ

P4 事業報告・お知らせ
●奨励賞 ●ランチミーティング ●研究支援員制度
●保育所からのお知らせ ●ワーク・ライフ・バランス相談室

教養教育科目「大学特色科目」の紹介

男女共同参画推進センターでは、学生が社会的性差(ジェンダー)と平等について理解し、考え方や行動に生かすことができるように、前期と後期に1科目ずつ開講しています。

前期「地域社会で活躍する女性」



グループワークの様子

ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、組織の女性経営者として、あるいは上位職で活躍する女性として経験を語っていただきました。

ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、企業や自治体における男女共同参画をふまえた働き方を考える機会となりました。

後期「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」



講義の様子

日本の社会におけるジェンダーとワーク・ライフ・バランスが実際にどうなっているのか、名古屋市大の各学部や部局から多面的に講義を展開しています。

理系、文系という学問の多様性を超えてジェンダーについて総合的な知見を持ち、理解しながら、ジェンダーバランスとワーク・ライフ・バランスの観点から学生自身が望ましい社会をデザインすることを考えました。

第1回 (4/13)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長
第2回 (4/20)	男女共同参画推進センター ワーク・ライフ・バランス相談室 木下薫相談員
第3回 (4/27)	同上
第4回 (5/12)	株式会社エステム 常務取締役 塩崎敦子氏
第5回 (5/18)	株式会社名南経営コンサルティング 特定社会保険労務士/産業カウンセラー 宮武貴美氏
第6回 (5/25)	リゾートトラスト株式会社 人事部ダイバーシティ推進室長 吉田幸代氏
第7回 (6/1)	株式会社キャリアビジョン 代表取締役社長 野村恵美子氏
第8回 (6/8)	同上
第9回 (6/15)	中北薬品株式会社 マナーインストラクター部 安田みきよ氏
第10回 (6/22)	名古屋市立軍水保育園 園長 荒木美恵氏
第11回 (6/29)	ユニー株式会社 執行役員・グループ環境社会貢献部長 百瀬則子氏
第12回 (7/6)	名古屋市総務局職員部人事課 人事係長 平松伯文氏
第13回 (7/13)	特定非営利活動法人PROUD LIFE 代表理事 安間優希氏
第14回 (7/20)	特定非営利活動法人参画プラネット 常任理事 重原惇子氏
第15回 (7/27)	男女共同参画推進センター ワーク・ライフ・バランス相談室 木下薫相談員

第1回 (9/28)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長	ガイダンス 男女共同参画推進センターの紹介
第2回 (10/5)	システム自然科学研究科 三浦均准教授	「ジェンダーと科学」
第3回 (10/12)	薬学研究科 菊池千草講師	「薬剤師をとりまく生物学的性差と社会的性差」
第4回 (10/19)	病院看護部 平原広登看護師長	「看護における男性・女性の協力・看護の現場におけるダイバーシティ・マネジメント」
第5回 (10/26)	医学研究科 道川誠教授	「医療におけるワーク・ライフ・バランス」
第6回 (11/2)	看護学部 堀田法子教授	「子どもの人権と児童虐待」
第7回 (11/9)	看護学部 寺口颯子准教授	「就労女性の妊娠・出産・子育て支援」
第8回 (11/16)	臨床研究開発支援センター 萩原宏美薬剤師	「変革時代におけるワーク・ライフ・バランスとキャリアの考え方」
第9回 (11/22)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長	学生・教員交流会
第10回 (11/30)	芸術工学研究科 鈴木賢一教授	「ユニバーサル・デザイン」
第11回 (12/6)	経済学研究科 山本陽子教授	「ワーク・ライフ・バランスと企業業績」
第12回 (12/14)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業におけるダイバーシティ」
第13回 (12/21)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業と家庭生活の調和-オランダモデル」
第14回 (1/11)	経済学研究科 藤田菜々子教授	「少子化とワーク・ライフ・バランス-1930年代のスウェーデンの経験」
第15回 (1/25)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長	全体討論

学生・教員交流会を開催しました

11月22日に学生・教員交流会を開催し、54名が参加しました。テーマごとに教員1名と学生6～7人程度のグループに分かれ、議論しました。まず教員が20分程度で意見を述べ、次にグループ全体で意見交換を行い、最後に各グループの代表の学生がグループ内で出された意見を発表しました。



(テーマA)

10年後の私は何をしているか? 何をしたいか?

男女共同参画推進センター 明石恵子センター長

(テーマB)

ワーク・ライフ・バランス、プライベートも大事にすること

看護学部 寺口顕子准教授

(テーマC)

仕事と育児の両立、学生時代にしておいて良かったこと、大学院へ進学する選択について

経済学研究科 山本陽子教授 薬学研究科 築地仁美講師

(テーマD)

ガラスの天井のやぶり方

医学研究科 杉浦真弓教授

(テーマE)

男性が考える男女共同参画～一億総活躍社会の実現へ向けて

芸術工学研究科 影山正幸准教授

システム自然科学研究科 徳光昭夫准教授

人間文化研究科 枝廣和憲准教授



意見交換の様子



意見交換の様子

ワーク・ライフ・バランス講演会



講師の佐々木常夫氏

1月30日に、男女共同参画推進センター・ダイバーシティ推進本部共催で講演会を行い、学内外88名の参加がありました。講師

に佐々木常夫氏をお招きし、第1部では、「個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス」について、実体験を交えて示唆に富んだご講演をいただきました。

第2部では、「ワーク・ライフ・バランスの推進にあたっての課題」において、心に響く質疑応答が行われました。参加者からは、「自分自身の働き方や、日々の過ごし方について考え直す良いきっかけになった」「『働き方は生き方』という言葉が印象に残った」等の声が聞かれました。ワーク・ライフ・バランスの推進については、「職場の人間関係をつくるのが仕事の効率をよくすることだと思う」「ワーク・ライフ・バランスの推進を1人で頑張るのは難しいと思った」等の意見が聞かれ、業務効率化やワーク・ライフ・バランスの推進は、職場全体で考えるべき課題だという意識を共有することができました。

両立カフェを開催

7月26日、男女共同参画推進センターにて、教職員対象の両立カフェを開催しました。



開催のチラシ



両立カフェの様子

医学研究科から教職員3名、男女共同参画推進センターから職員2名が参加し、昼食をとりながら近況や人生の経験談を共有しました。海外の生活事情や将来のキャリアの展望など、幅広い話題で会話がはずみました。

ランチタイムヨガ・夕方ヨガ

お昼休みや夕方の時間を利用して、月に4回、ヨガ教室を開催しています。3月末現在で参加者は延べ275人になりました。参加者からは、「週1回の運動を楽しみにしている」「身体のふしぶしの痛みがなくなった」「学内の知り合いが増えた」等、大変好評です。



ヨガ教室の様子

男女共同参画奨励賞 表彰式・事例報告会



映像研究室・環境デザイン研究所 水野亜耶さんによる活動報告の様子

1月23日、男女共同参画の実現に関する優れた研究・活動などを行っている本学の在学学生を表彰し、事例報告会を開催しました。

今回は、名古屋市男女平等参画インターンシップに参加した人文社会学部1年生の瀧本美実果さんと、環境問題啓発映像コンテンツ制作と環境デー名古屋での上映発表を行った芸術工学部映像研究室・環境デザイン研究所が受賞しました。

男女共同参画奨励賞は、本学の学生、教職員だけではなく、卒業生も含めて募集を行っています。男女共同参画推進センターホームページ、ポスター又は事務局を通してご案内しますので、皆様のご応募をお待ちしております。



受賞者の皆さんと

「女性研究者ランチミーティング」を開催しました

ランチミーティングでの話題は、学会での参加者との関わり方から子どもの安全など、多岐にわたります。同じキャンパスに勤務していても交流する機会は少ないので、ネットワーキングの機会にもなります。



田辺通キャンパスにて

開催実績

- 第1回 5月22日 山の畑キャンパス
- 第2回 6月 4日 田辺通キャンパス
- 第3回 6月19日 桜山キャンパス
- 第4回 9月14日 桜山キャンパス

「研究支援員制度」ご利用ください

出産、育児、介護等により研究時間の限られた女性研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、当該期間中の女性研究者に研究支援員を配置しています。30年度の利用者は4名でした。研究支援員制度利用者による報告会を3月11日に開催しました。



報告会の様子

ワーク・ライフ・バランス相談室

ワーク・ライフ・バランス相談室では、さまざまな悩みごとの相談を受けつけます。

- 仕事と家庭生活のバランス
- 妊娠・出産・子育て ●介護
- 研究室や職場の人間関係など。

詳細はホームページの開室スケジュールをご参照ください。
(要予約) ☎052-853-8577

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/wlb-consultation/open.html>

さくらんぼ保育所だより

♪大きい子も小さい子も一緒に♪

だんだんと暖かくなってきました。3月は卒園児を見送る季節でもありますが、大人の感傷を他所に、いつも通りに遊んで食べて寝ての毎日を過ごす子ども達です。大きい子達は自分より小さい子達を見かけると、名前を呼んだり手を引いたり抱き上げたり。そんな大きい子達を、小さい子達は見上げたり、興味深そうに目で追ったり、嬉しそうについて行ったり。異年齢の子どもたちが一緒に過ごすことの豊かさを、大人としても感じているところです。



2019年3月現在、本学の女性教員比率(専任)は **22.4%** です。